



2022年第1四半期 業績概要

～五大陸をつなぐ世界No.1ブランドをめざして～

ホシザキ株式会社

(証券コード:6465 東証プライム・名証プレミア)

2022.5.11

HOSHIZAKI

- I. 2022年第1四半期 決算概況 :P.02-14
- II. 2022年第1四半期 決算のポイント :P.16-22
- III. 2022年12月期 業績予想 :P.23-25
- IV. 会社概要・事業内容 :P.26-31



I. 2022年第1四半期決算概況

為替の前提

	21年第1四半期		22年第1四半期		22年通期業績予想 (22.2.9)	
	実績		実績		期中平均	期末
	期中平均	期末	期中平均	期末		
米ドル	106.0	110.7	116.3	122.3	110.0	110.0
ポンド	146.2	152.2	155.9	160.8	155.0	155.0
ユーロ	127.8	129.8	130.4	136.7	130.0	130.0
シンガポールドル	79.5	82.2	85.9	90.4	83.0	83.0
人民元	16.3	16.8	18.3	19.2	17.1	17.1
デンマーククローネ	17.1	17.4	17.5	18.3	17.9	17.9
台湾ドル	3.7	3.8	4.1	4.2	3.9	3.9
香港ドル	13.6	14.2	14.9	15.6	14.1	14.1
インドルピー	1.46	1.52	1.56	1.63	1.51	1.51
韓国ウォン	0.0953	0.0978	0.0966	0.1013	0.0976	0.0976
ブラジルリアル	19.3	19.4	22.3	25.8	20.8	20.8
インドネシアルピア	0.0075	0.0077	0.0081	0.0086	0.0077	0.0077
タイバーツ	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	3.5
マレーシアリンギット	26.0	26.6	27.7	29.1	26.5	26.5
ベトナムドン	0.0045	0.0047	0.0050	0.0052	0.0047	0.0047
フィリピンペソ	2.22	2.30	2.27	2.37	2.30	2.30



2022年第1四半期 決算概要

■ 売上高は725億円（前年同期比5.8%増）

- 国内：売上高 443億円（同5.6%減）
- 海外：売上高 282億円（同30.7%増） 海外売上高比率：38.9%（同7.4pt増）
※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出
- 国内：飲食市場においては、需要環境の回復などにより増収であったものの、供給面における半導体等電子部品の調達難や、冷蔵庫等に使用される断熱材の原料である発泡液の調達停滞等による生産遅延により、飲食外市場を中心に減収。また、当期より「収益認識に関する会計基準」の適用により、約14億円の減収影響。
- 海外：経済の持ち直しに伴い需要は継続して回復しており、全てのセグメントで大幅増収。

■ 営業利益は68億円（同11.9%減） 営業利益率：9.4%（同1.9pt減）

- 国内：営業利益 47億円（同22.5%減） 国内営業利益率：10.7%（同2.3pt減）
- 海外：営業利益 23億円（同23.9%増） 海外営業利益率：8.2%（同0.4pt減）
※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出
- 世界的な材料費・物流費高騰による収益性の悪化の影響等により減益。
また、国内においては「収益認識に関する会計基準」の適用により、約3.3億円の減益影響。

■ 経常利益は114億円（同1.6%増）

- 営業外損益に外貨預金等による為替差益43億円を計上（前期は為替差益33億円を計上）。

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益は79億円（同1.5%増）



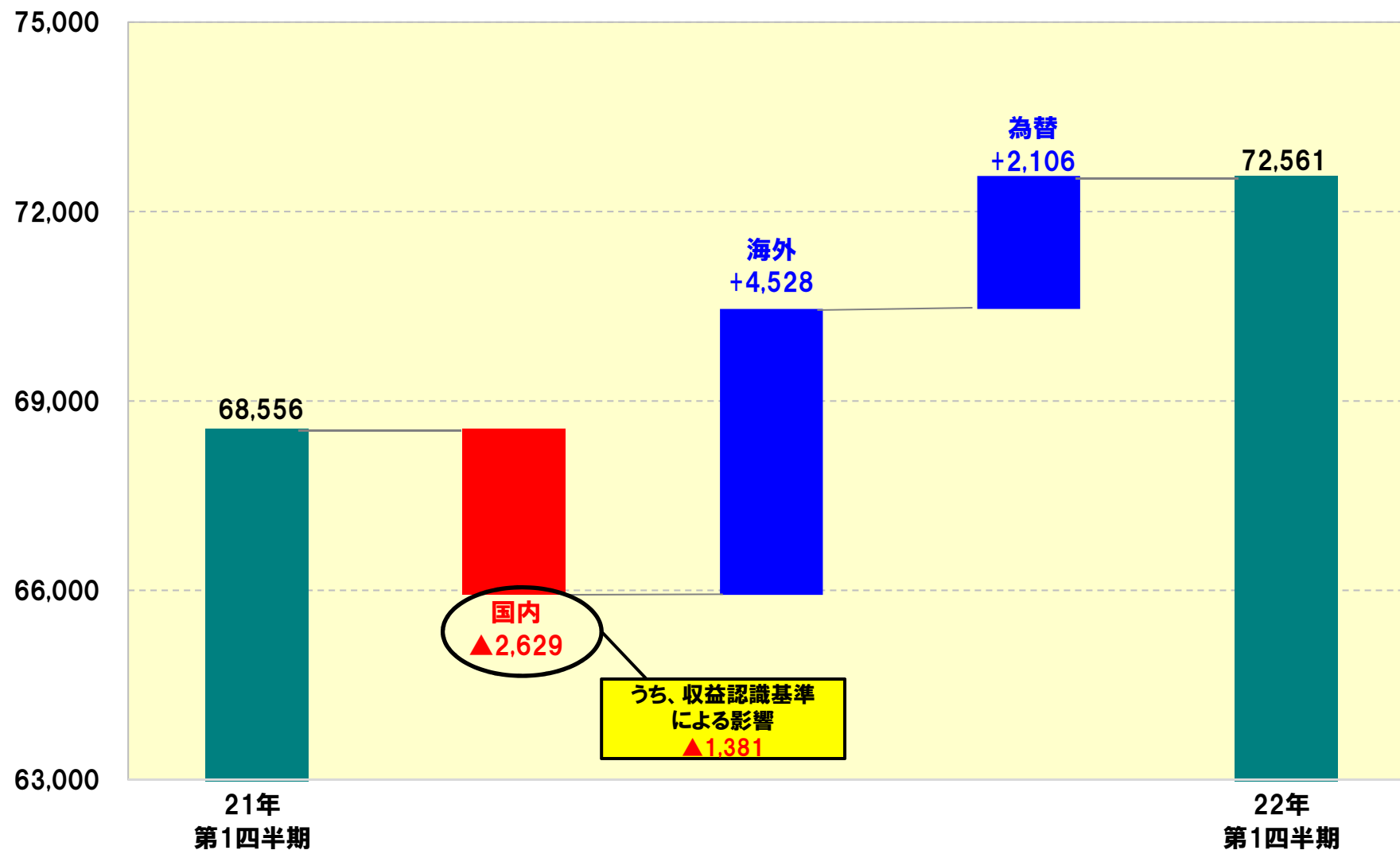
連結損益計算書

	21年 第1四半期		22年 第1四半期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	68,556	100.0	72,561	100.0	+4,005	105.8
売上原価	43,032	62.8	46,505	64.1	+3,472	108.1
売上総利益	25,523	37.2	26,056	35.9	+532	102.1
販売費及び一般管理費	17,801	26.0	19,253	26.5	+1,452	108.2
営業利益	7,722	11.3	6,802	9.4	▲919	88.1
経常利益	11,297	16.5	11,481	15.8	+184	101.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,790	11.4	7,906	10.9	+116	101.5

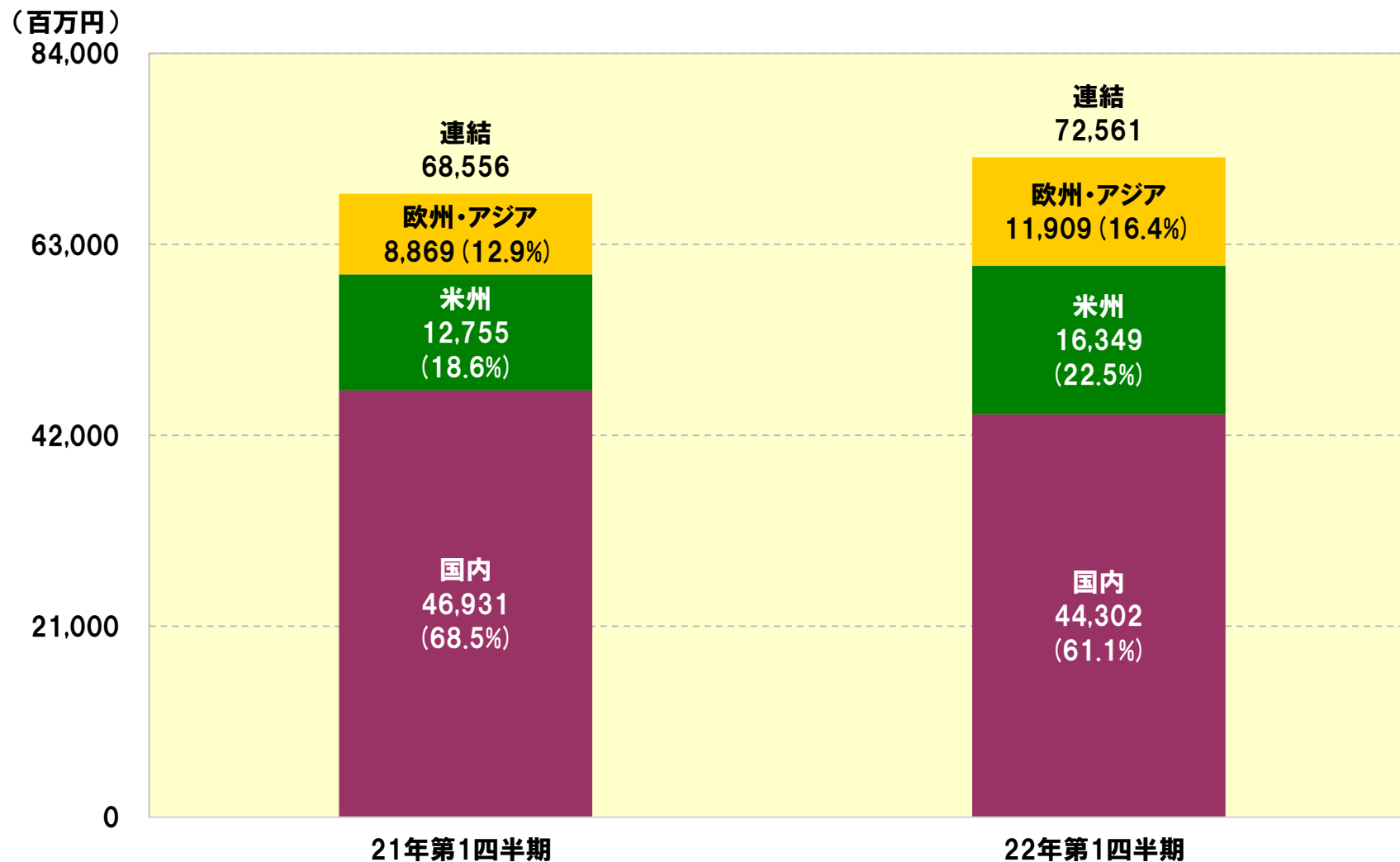


連結売上高増減要因(国内・海外)

(百万円)



報告セグメント別売上高の前期比較



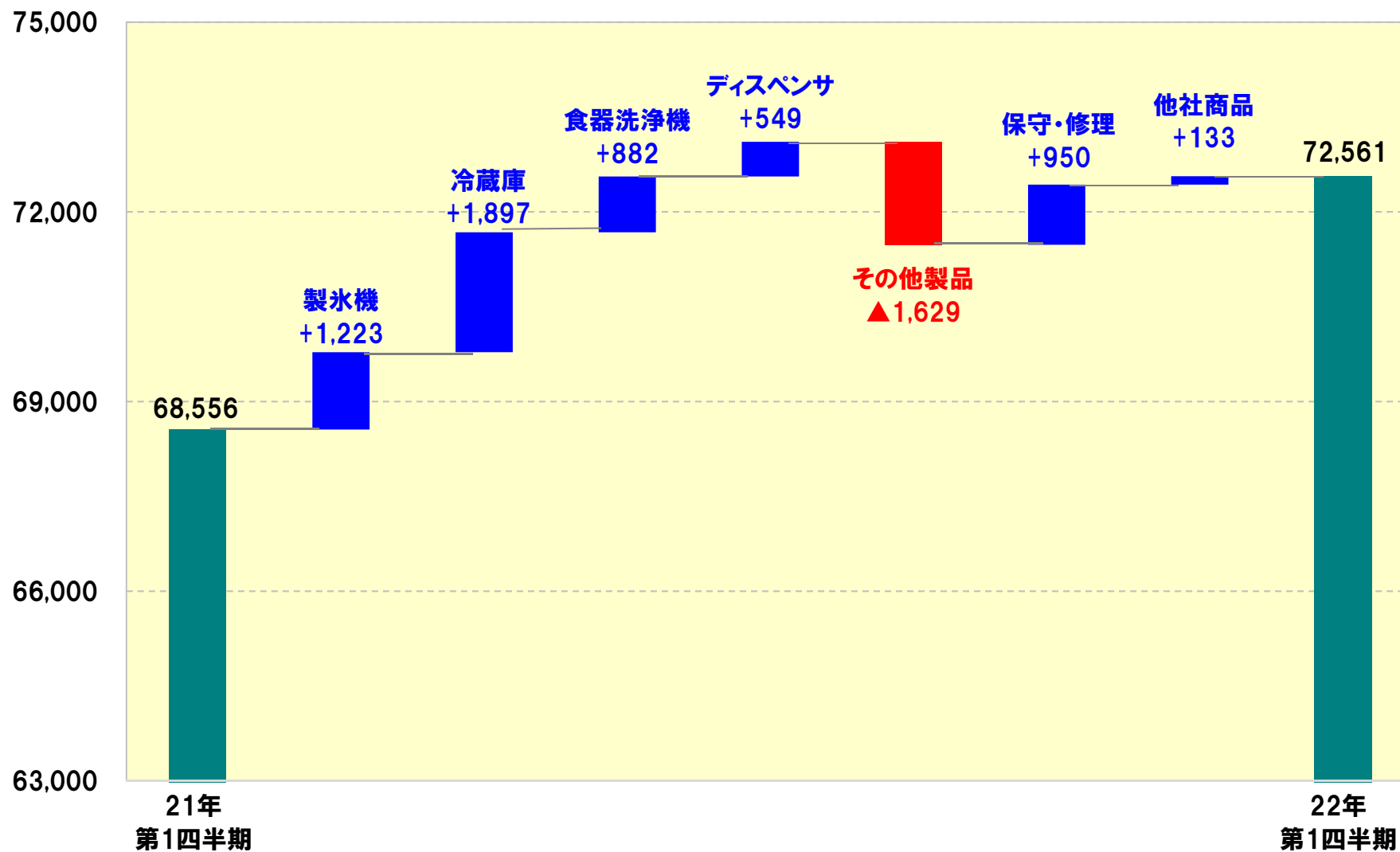
※ () 内は構成比を示す。

※ 本社所在地エリア区分(例:ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)



連結売上高増減要因(製品群別)

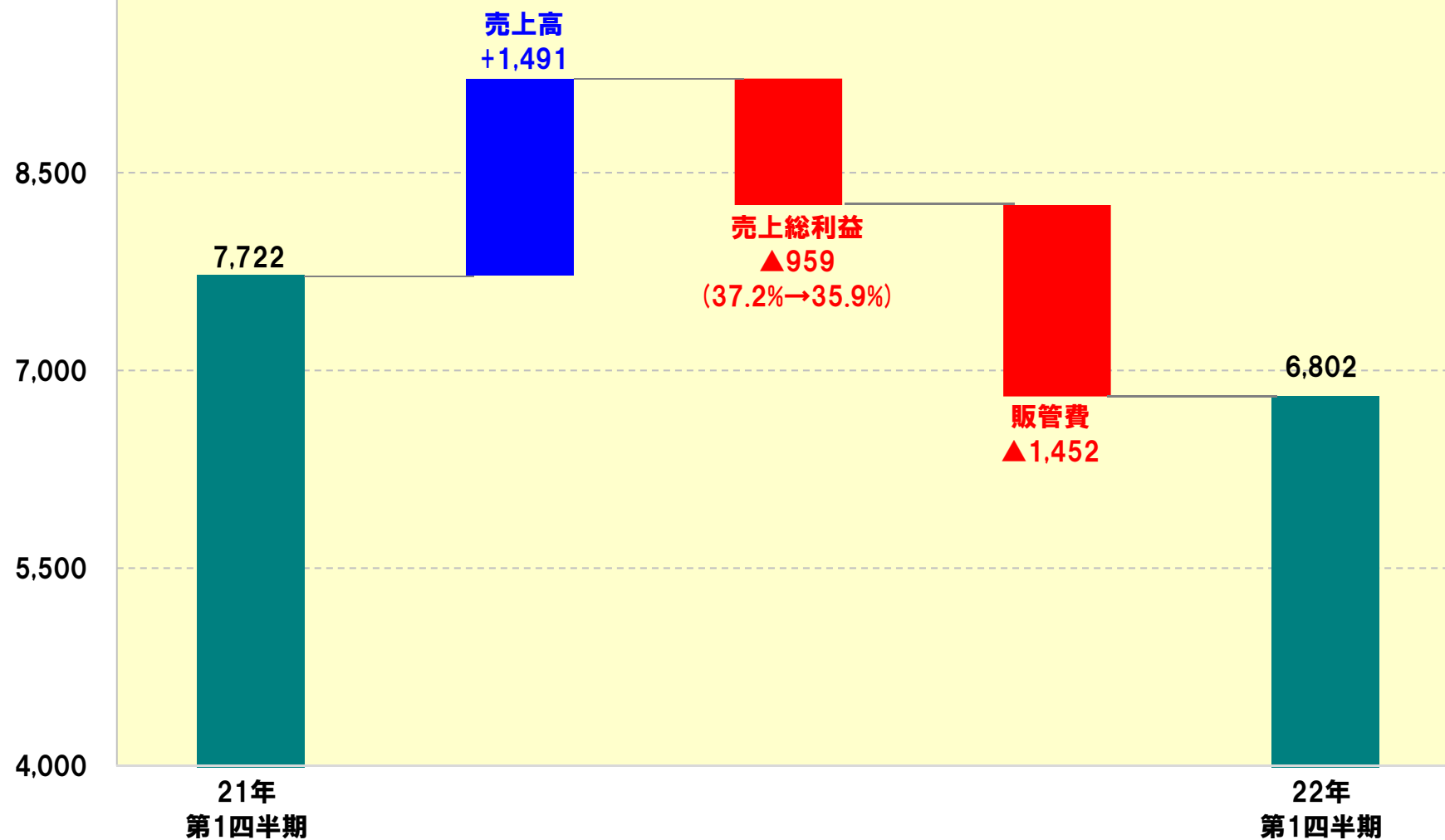
(百万円)



連結営業利益増減要因

(百万円)

10,000



※()内は、対売上比率の推移を示す。



連結営業利益増減要因(国内・海外)

(百万円)

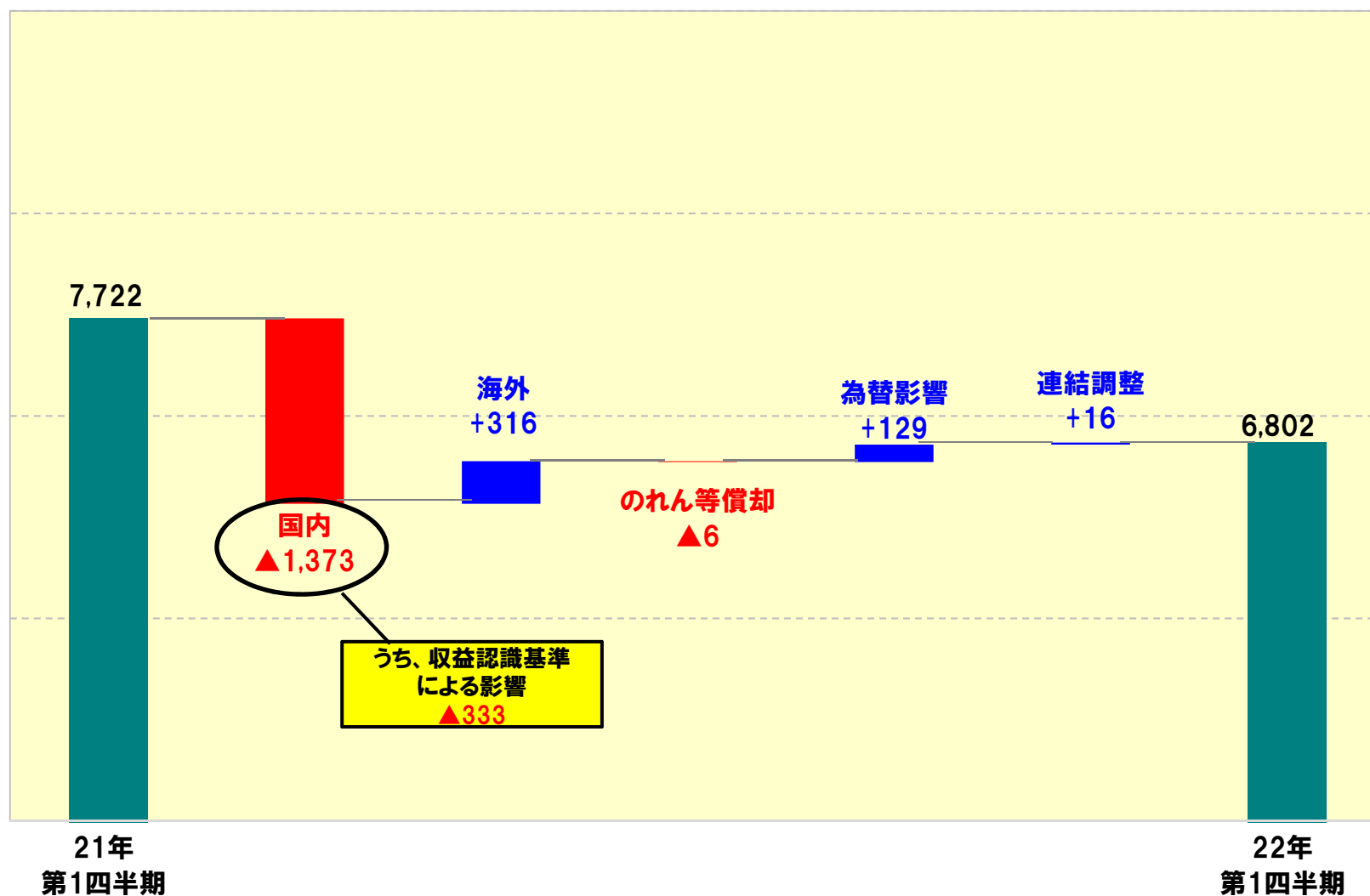
10,000

8,500

7,000

5,500

4,000

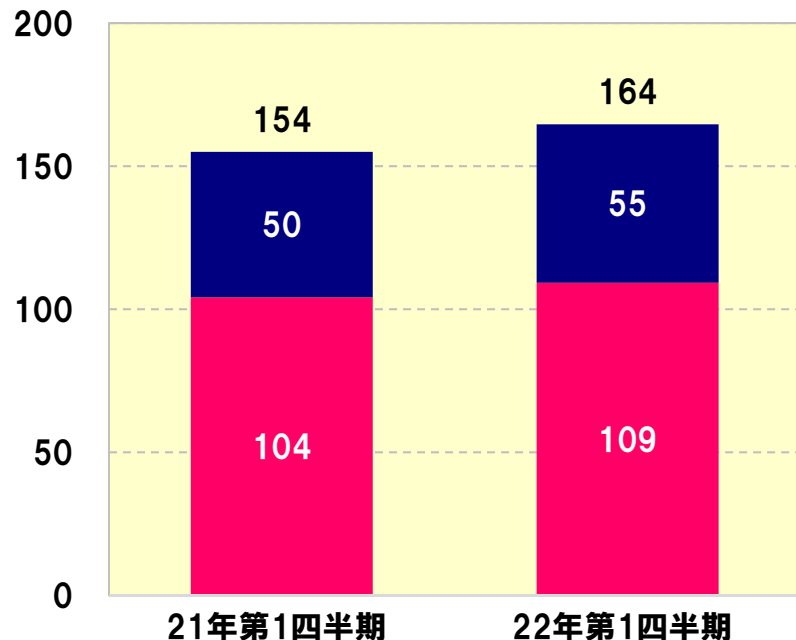


のれん等償却額の影響

■ 無形固定資産償却
■ のれん償却
■ 営業利益

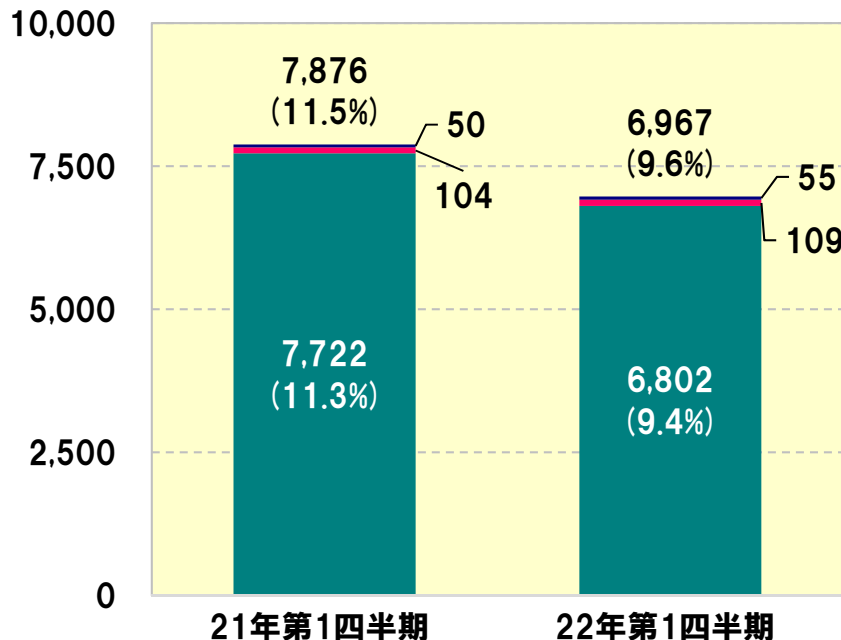
(百万円)

のれん等償却額



(百万円)

営業利益+のれん等償却額



※()内は、対売上比率を示す。

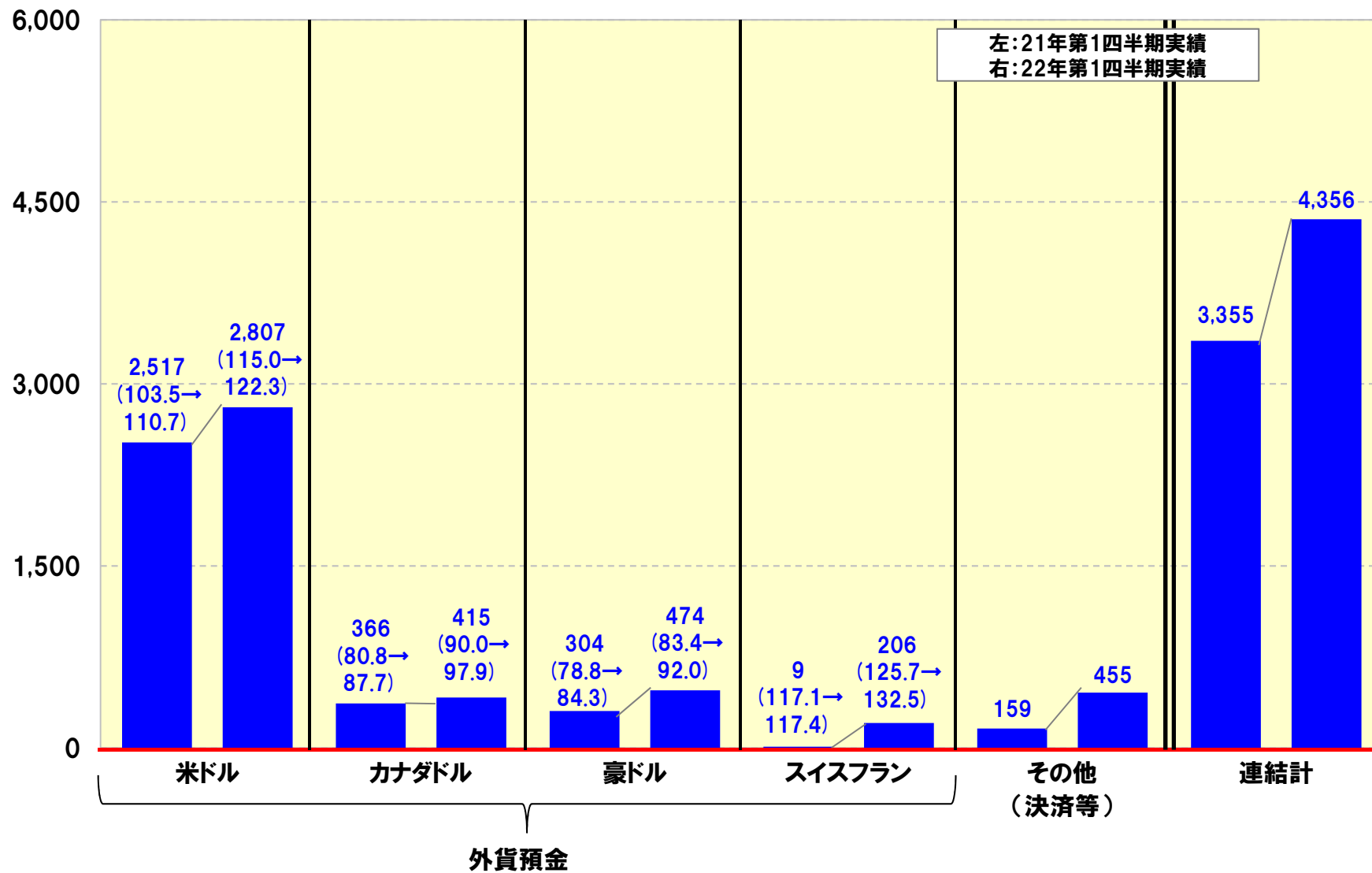
のれん等計上金額		のれん等減損金額	
・LANCER	(06年2月買収 : 17,451百万円 10年償却)	・Macom	(14年実施 : 3,186百万円)
・GRAM	(08年9月買収 : 6,759百万円 12年償却)		(15年実施 : 1,791百万円)
・Western	(13年1月買収 : 2,198百万円 10年償却)	・GRAM	(17年実施 : 1,800百万円)
〃	(〃 : 2,439百万円 16年持分追加取得分)		
〃	(〃 : 473百万円 18年持分追加取得分)		
・JACKSON	(13年1月買収 : 1,006百万円 一括償却)		
〃	(〃 : 2,020百万円 12年償却)		
・Macom	(13年7月買収 : 6,690百万円 15年償却)		

※計上金額は、買収時の為替レートにて算出。



為替差損益内訳

(百万円)



※()内は、前期末から当四半期末までの為替レートの動きを示す。



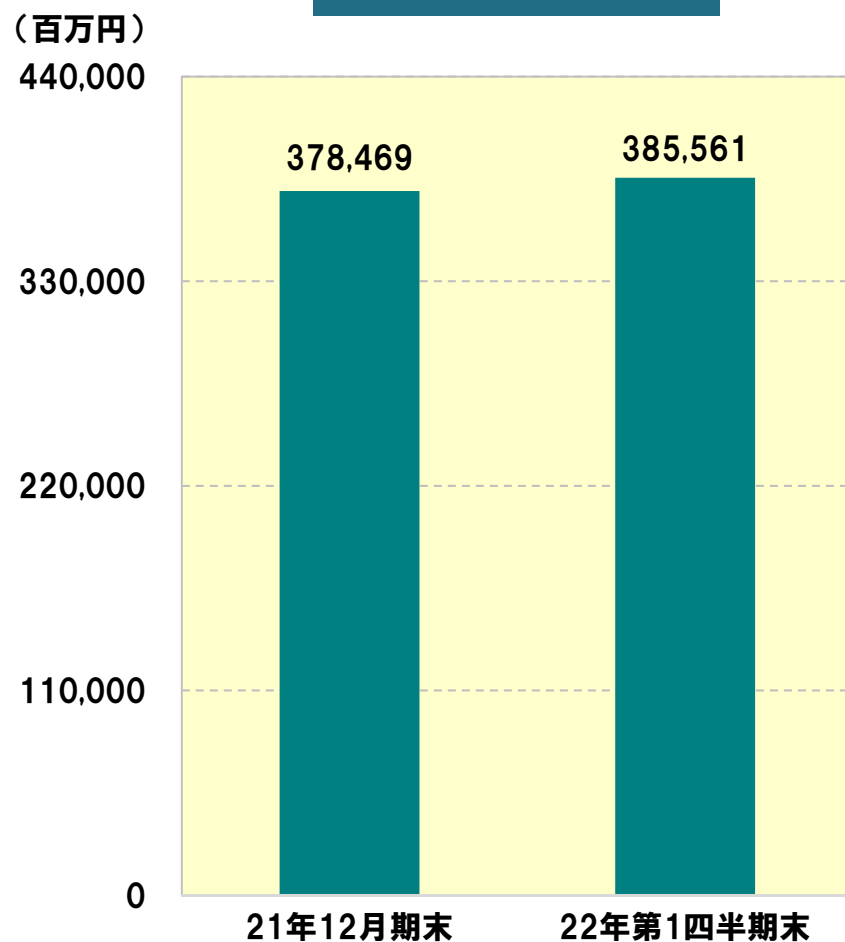
連結貸借対照表

	21年12月期		22年第1四半期		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額 (百万円)
流動資産	310,645	82.1	316,911	82.2	+6,266
（手元流動性）	240,723	63.6	232,635	60.3	-8,087
（売上債権）	31,120	8.2	41,827	10.8	+10,707
（たな卸資産）	35,556	9.4	39,038	10.1	+3,481
固定資産	67,823	17.9	68,649	17.8	+825
資産合計	378,469	100.0	385,561	100.0	+7,091
流動負債	94,448	25.0	93,463	24.2	-985
（仕入債務）	26,070	6.9	30,016	7.8	+3,946
固定負債	24,159	6.4	24,694	6.4	+535
負債合計	118,607	31.3	118,157	30.6	-450
純資産合計	259,862	68.7	267,403	69.4	+7,541
負債・純資産合計	378,469	100.0	385,561	100.0	+7,091
現預金等(長期性預金含む)	240,723		232,635		-8,087

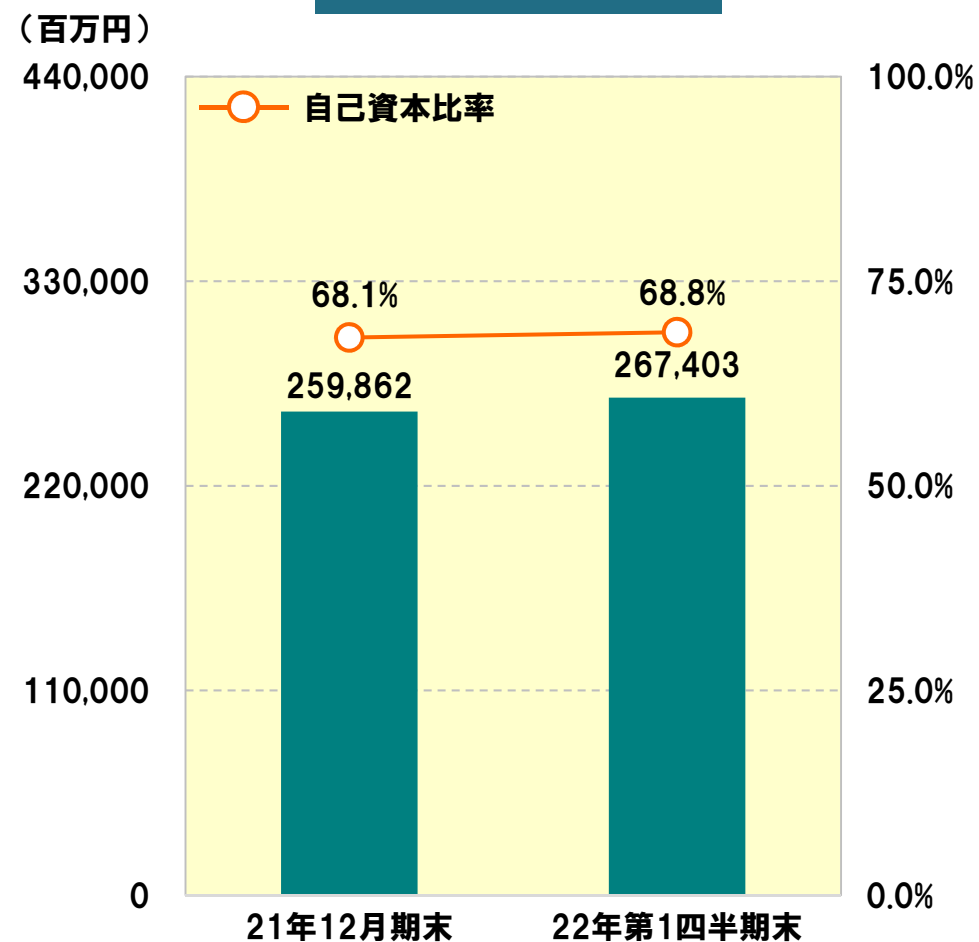


連結総資産額・純資産額の前期末比較

総資産額



純資産額

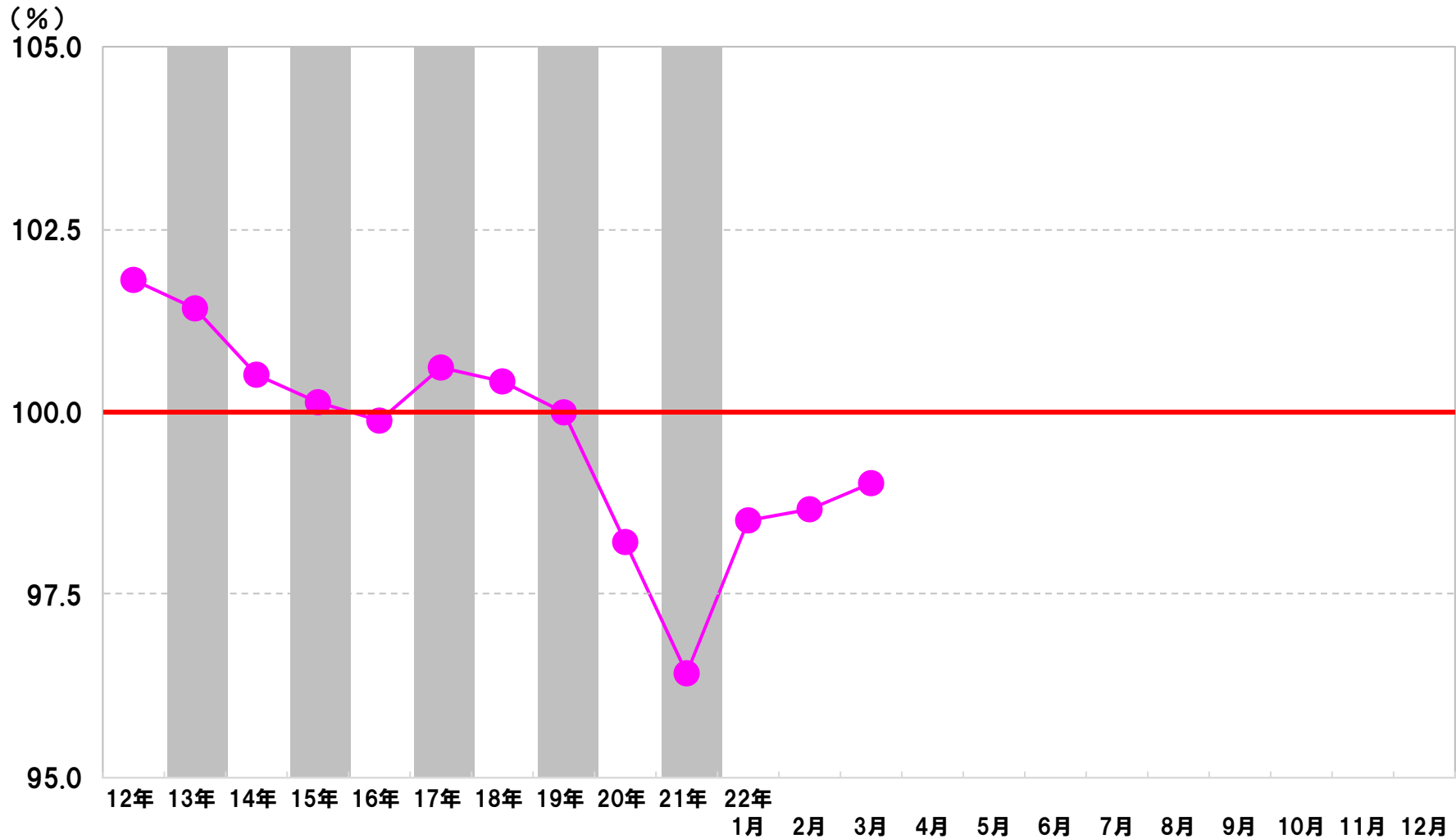




II. 2022年第1四半期 決算のポイント

国内:大手チェーン店 全店店舗数 前期比/前年同月比

- 全店店舗数は22年に入っても減少傾向。

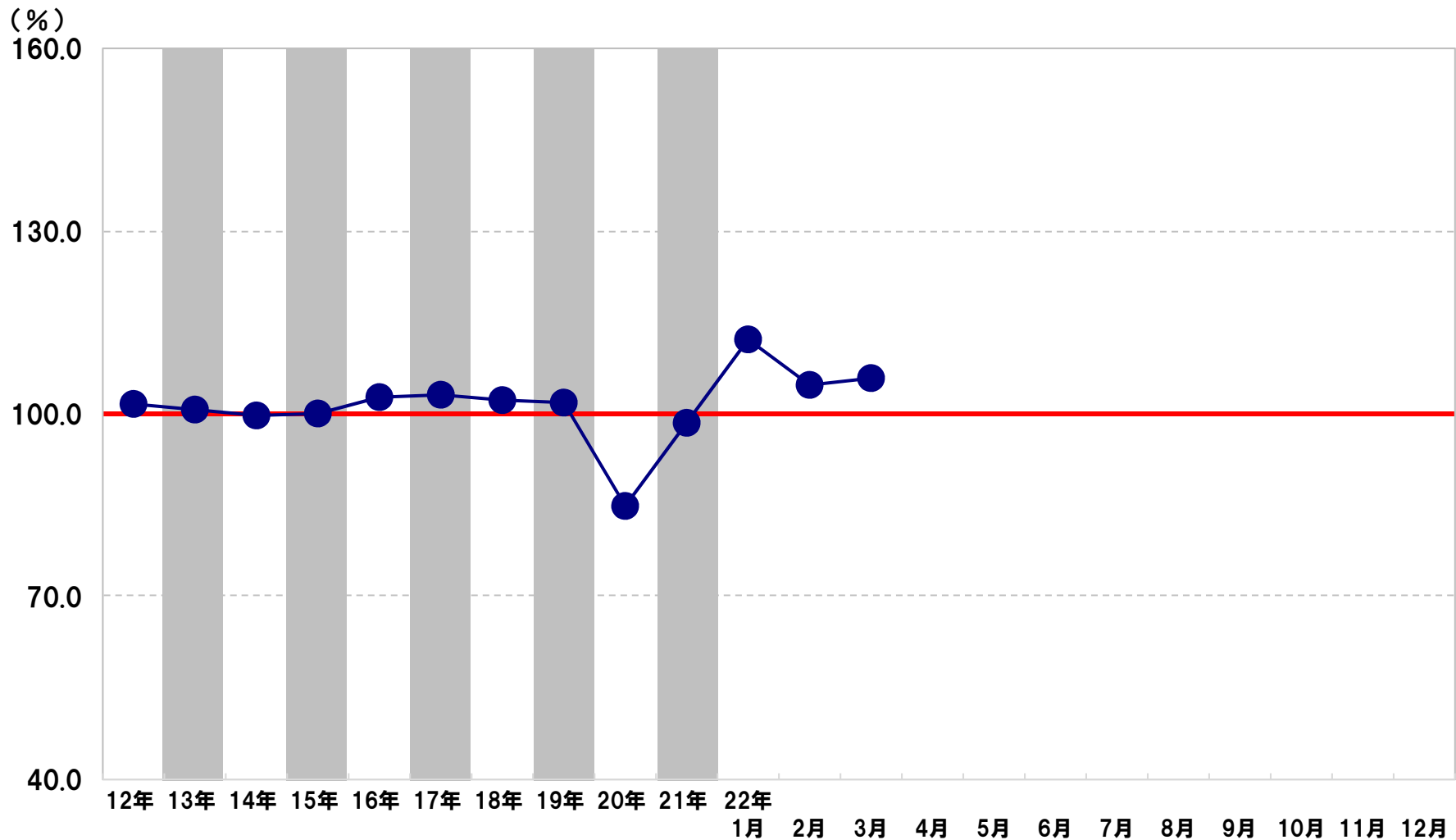


出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内:大手チェーン店 全店売上高 前期比/前年同月比

- まん延防止等重点措置適用の影響はあったものの、大都市圏に緊急事態宣言が発令された前年同月を上回って推移。

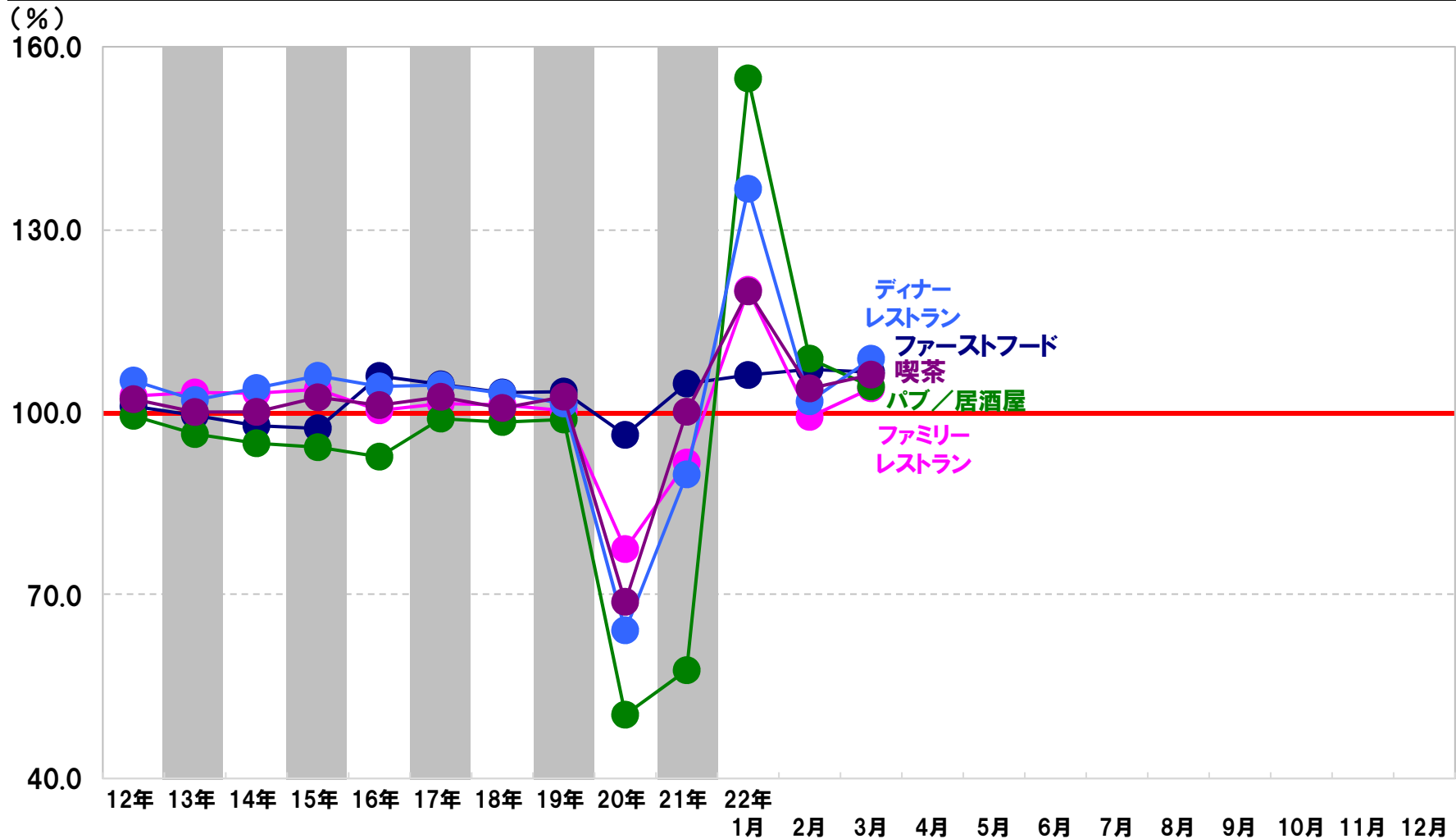


出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内：大手チェーン店 業態別売上高 前期比/前年同月比

- テイクアウトが定着しつつあるファーストフード業態は19年の売上を上回って推移も、その他の業態は依然として需要の低迷傾向が続いており、前年同月は上回って推移しているものの、コロナ前との差は埋まっていない。

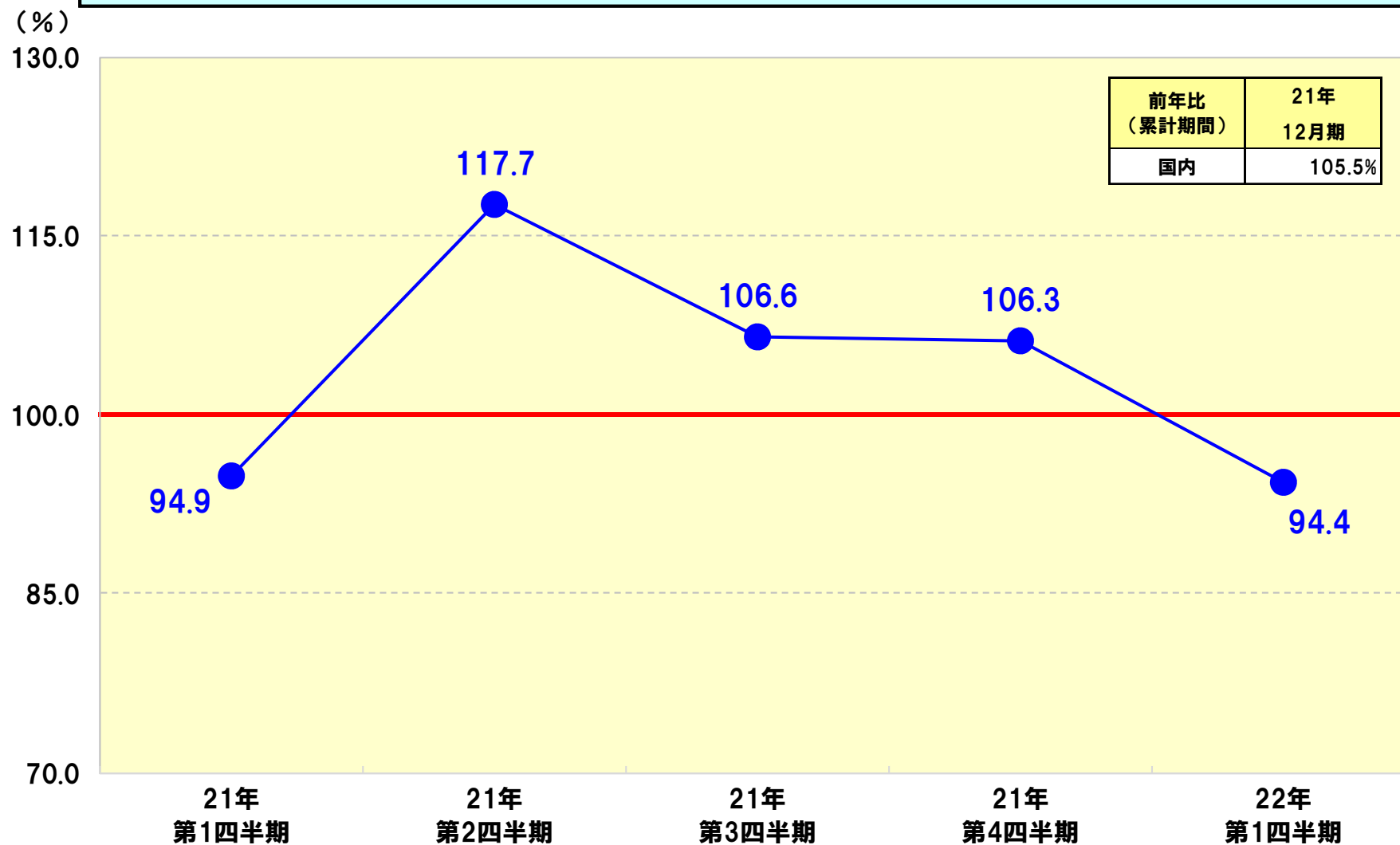


出典：日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」

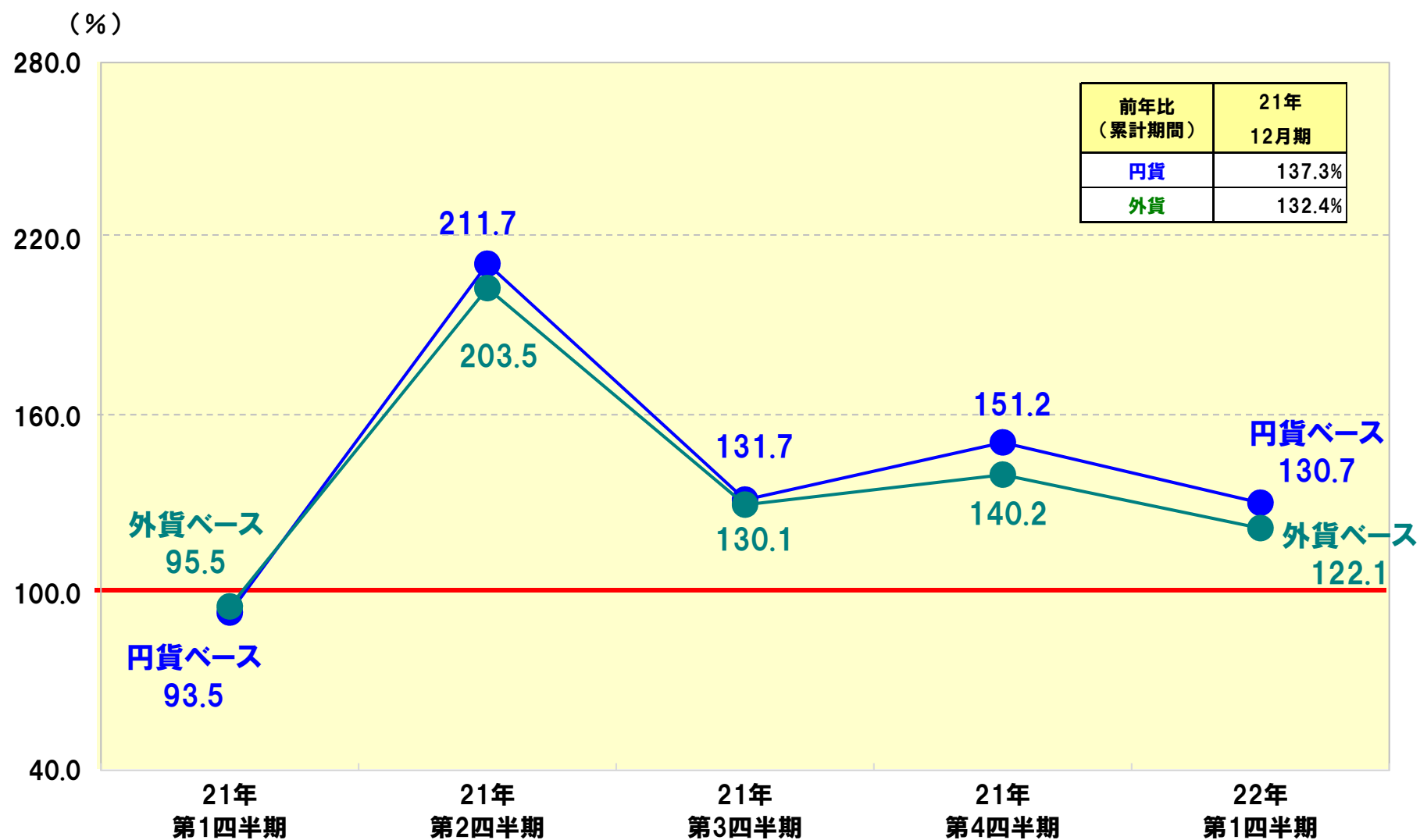


国内:売上高前年同期比推移

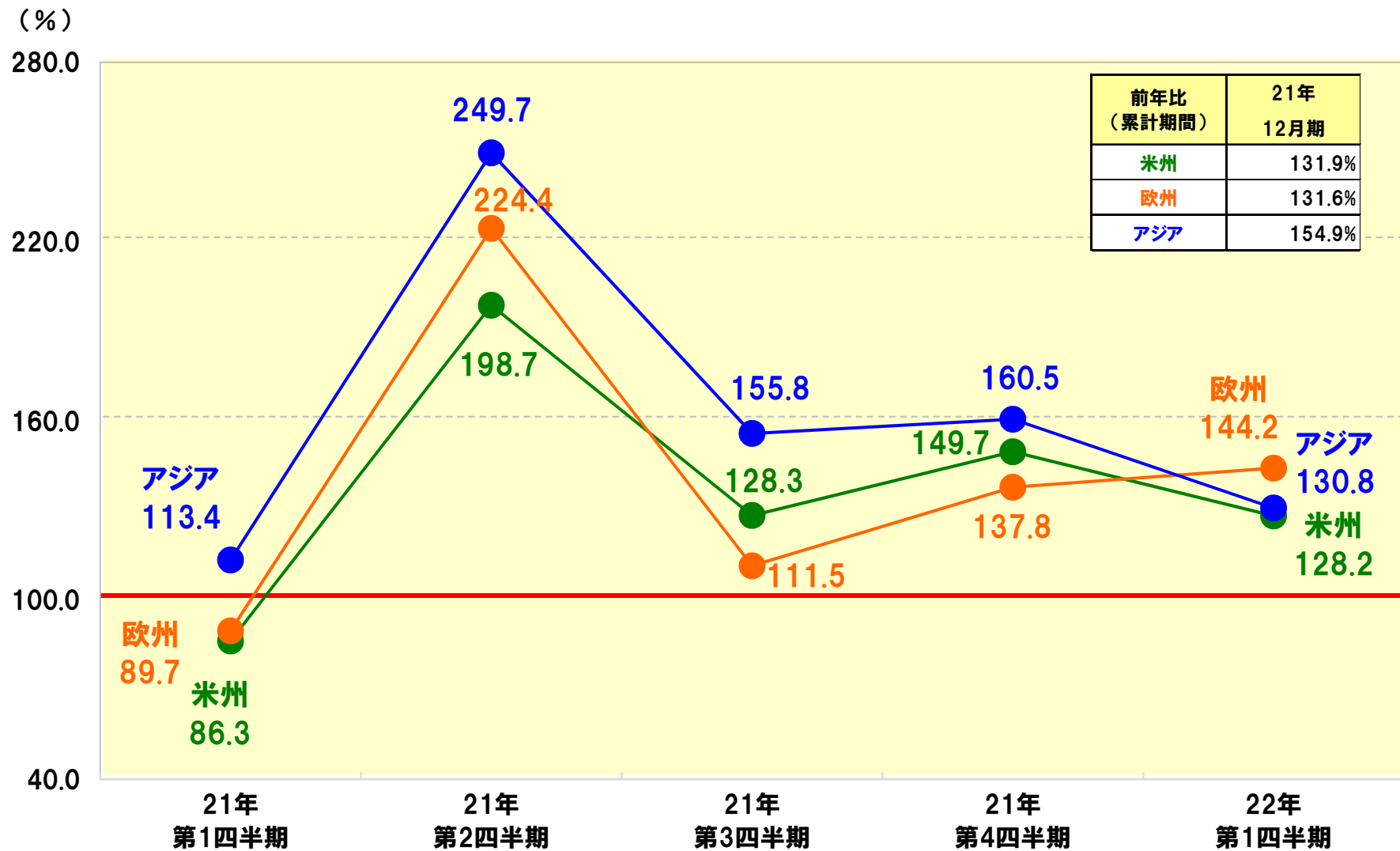
- 部材調達難による製品供給不足が影響し減収となった。また収益認識に関する会計基準の適用による売上高の減少も受けた。



海外:売上高前年同期比(円貨・外貨)推移



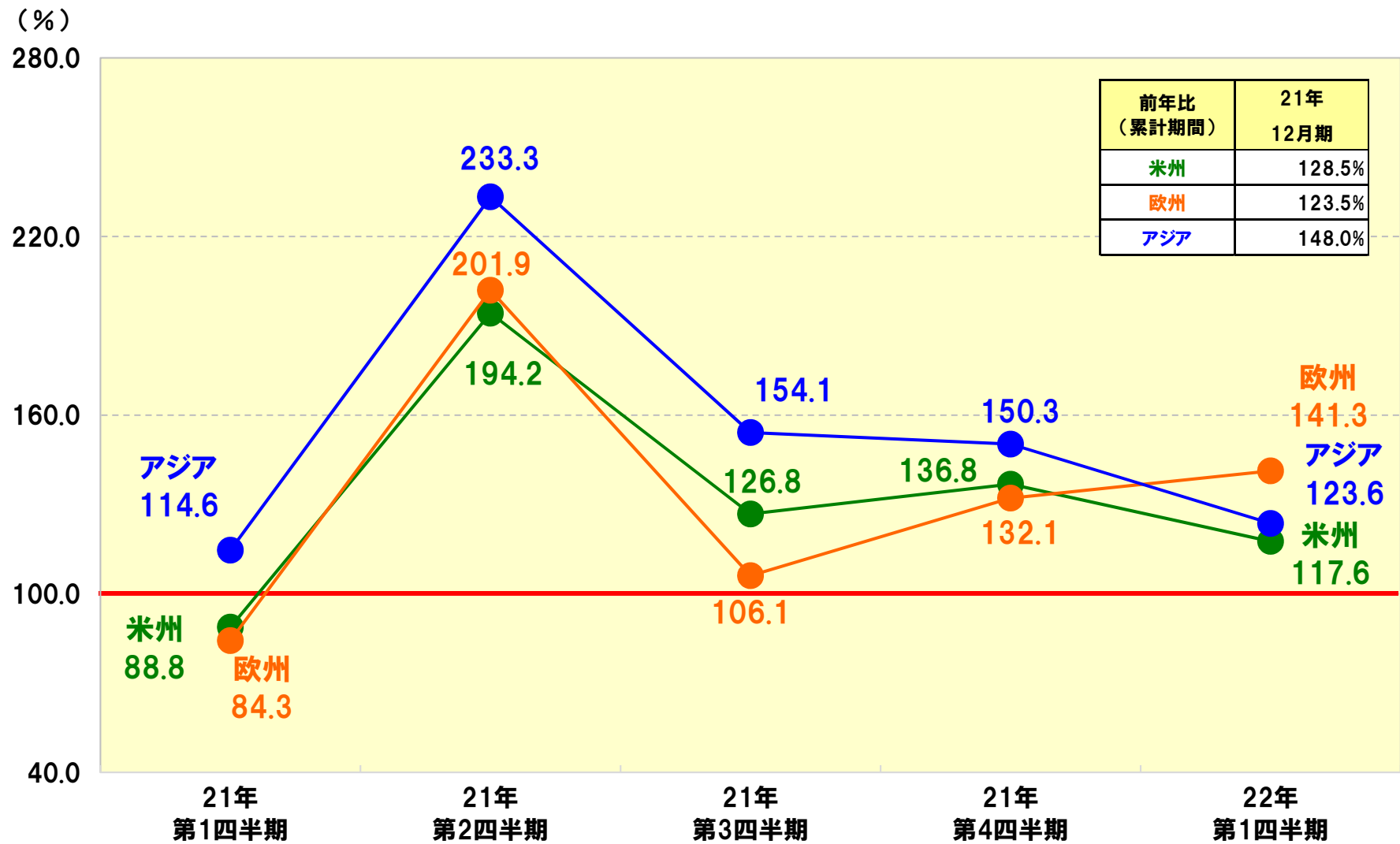
海外：エリア別[※]売上高前年同期比(円貨ベース)推移



※本社所在地エリア区分(例：ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)



海外：エリア別[※]売上高前年同期比(外貨ベース)推移



※本社所在地エリア区分(例：ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)





III. 2022年12月期 業績予想

HOSHIZAKI

2022年12月期 業績予想のポイント

■ 売上高は2,900億円(前期比5.7%増)

- 国内：売上高 1,802億円(同2.8%増)
- 海外：売上高 1,098億円(同10.7%増)
- 海外売上高比率：37.9%(同1.8pt増)
- 国内は、新型コロナウイルスの新変異種拡大について、収束の兆しが欧米各国に比べ見えず、足元ではまん延防止等重点措置が適用されており、当社の事業環境への影響が懸念されるものの、飲食市場の深掘りや飲食外市場の開拓等により、通期の売上高前期比を102.8%で想定。
- 海外は、部材の供給制約などリスク要因が継続するものの、各国での市場の回復に鑑み、通期売上高前期比を110.7%で想定。(新規M&AによるBrema社の売上高を含む)
- 主要な為替レート(期中平均)は、1米ドル=110円、1ユーロ=130円、1インドルピー=1.51円

■ 営業利益は265億円(同6.3%増)

- 継続する材料費高騰はあるものの、国内外ともに業務の効率化及び生産性の向上、徹底したコストダウン活動を実施。

■ 経常利益は272億円(同12.7%減)

- 外貨預金による為替差損益は見込まず(前期は、為替差益53億円を計上)。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益は189億円(同12.8%減)



連結業績予想概要

	20年12月期 実績		21年12月期 実績		22年12月期 業績予想(22.2.9)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
							増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	238,314	100.0	274,419	100.0	290,000	100.0	15,580	105.7
売上原価	149,261	62.6	174,727	63.7	185,500	64.0	10,772	106.2
売上総利益	89,053	37.4	99,691	36.3	104,500	36.0	4,808	104.8
販売費及び一般管理費	70,605	29.6	74,760	27.2	78,000	26.9	3,239	104.3
営業利益	18,447	7.7	24,931	9.1	26,500	9.1	1,568	106.3
経常利益	17,420	7.3	31,165	11.4	27,200	9.4	-3,965	87.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,442	4.8	21,679	7.9	18,900	6.5	-2,779	87.2





IV. 会社概要・事業内容

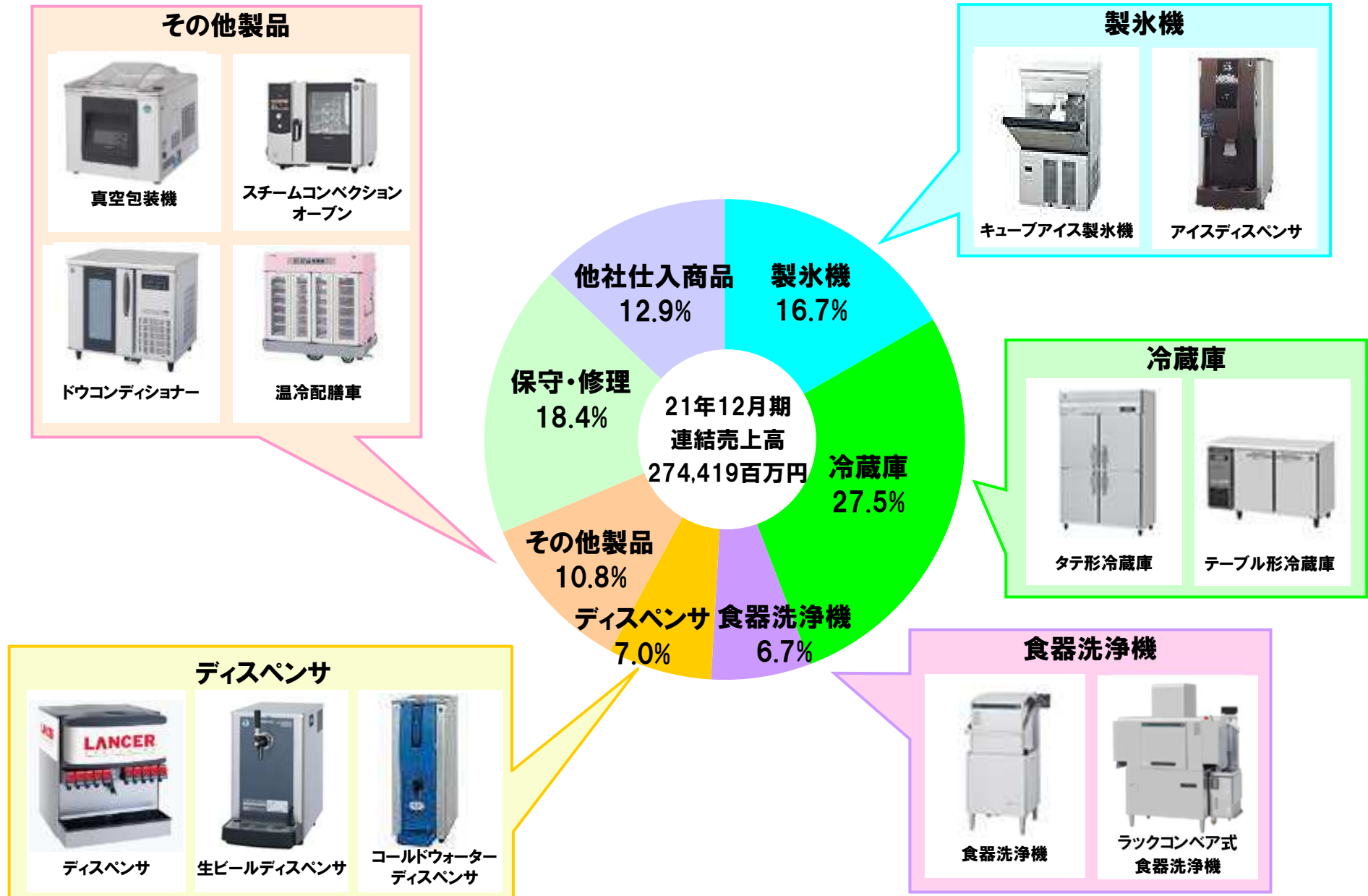
HOSHIZAKI

会社概要

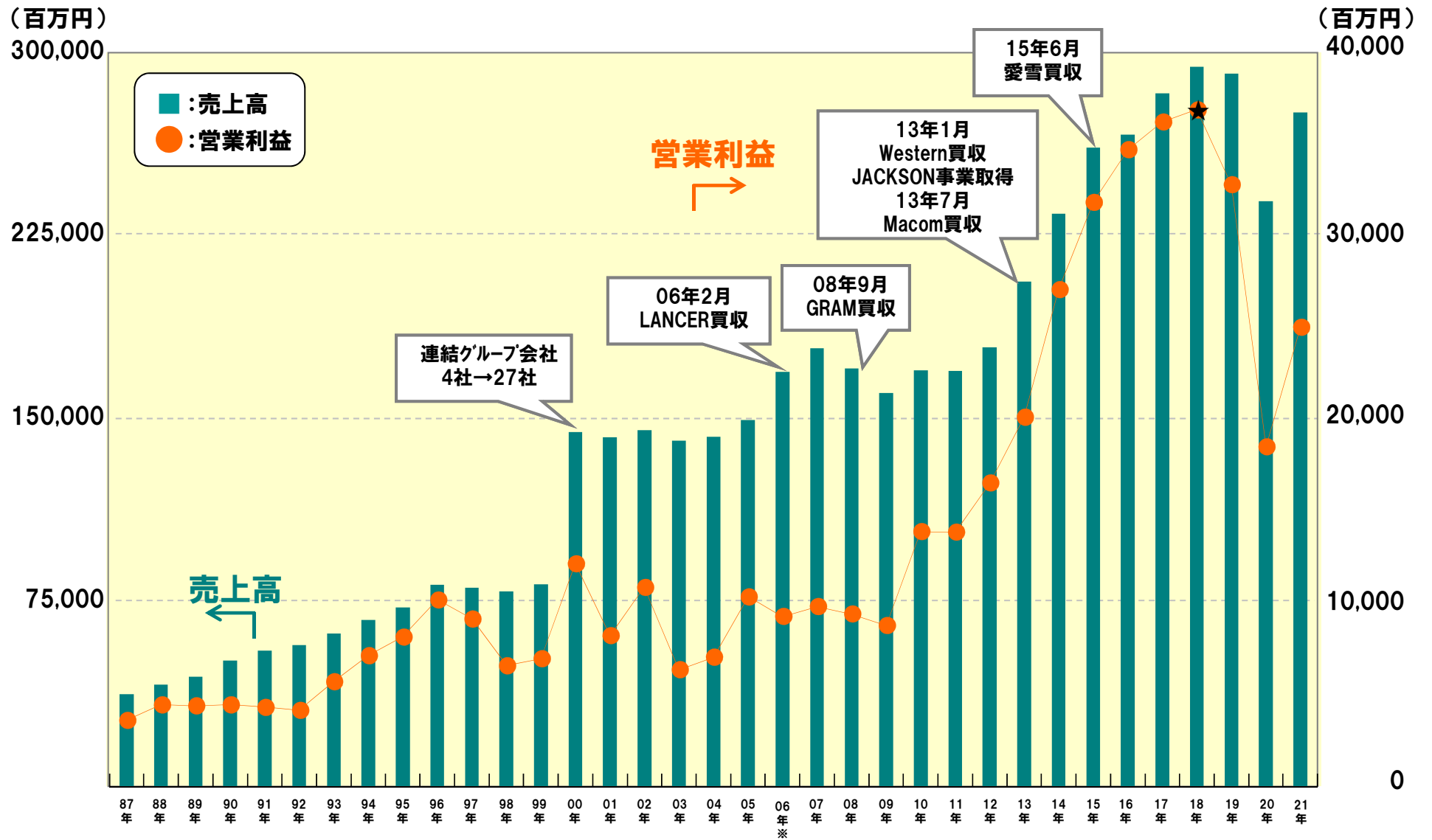
- 社 名 : ホシザキ株式会社
- 本 社 : 愛知県 豊明市 栄町南館3-16
- 代 表 者 : 代表取締役社長 小林靖浩
- 設 立 : 1947年2月
- 事 業 内 容 : フードサービス機器の研究開発、製造、販売及び保守サービス
- 資 本 金 : 8,052百万円(2021年12月末現在)
- 業 績
 - ・売上高 274,419百万円
 - ・営業利益 24,931百万円
 - ・当期純利益 21,679百万円(2021年12月期連結)
(※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益)
- 連結グループ会社 : 51社(国内18社、米州15社、欧州・アジア等18社)
(2022年3月末現在、ホシザキ含む)
- 社 員 数 : 1,206名(個別)、12,992名(連結)
(2022年3月末現在)
- 営 業 拠 点 数 : 434ヶ所
(2021年12月末現在)



主要製品群と売上高構成



長期業績推移(連結)



★過去最高収益を示す。

※12ヶ月換算



本資料における注意事項等

- 本資料にはホシザキ株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び弊社IRに関するお問い合わせ先】

ホシザキ株式会社 経営企画部

TEL (0562)96-1320

URL <https://www.hoshizaki.co.jp/>

